



平成 31 年 4 月 26 日	
担当課	文化振興担当
担当者	松長・金子松
電 話	06-6489-6385

「A-Lab Artist Gate 2019」を開催します

～今後活躍が期待される、若手アーティストを紹介！～

1 趣旨

この度、あまらぶアートラボ「A-Lab」(えーらぼ)では、若いアーティストを応援するプロジェクトとして、新鋭アーティスト発信プロジェクト「A-Lab Artist Gate 2019」を開催します。本プロジェクトは今後活躍が期待される若手アーティストによるグループ展です。今春、大学を卒業か、大学院を修了した方を対象に、アーティストとして次のステップに進もうとしている作家を A-Lab のアドバイザーに推薦いただきました。

A-Lab のコンセプトのひとつ、「若い人の夢とチャレンジを応援する」を具体化するプロジェクトとして、本展覧会が本格的な作家活動の一歩となり、大きく羽ばたいてくれることを期待しています。

2 概要

会 期：令和元年 5 月 25 日(土)から令和元年 7 月 7 日(日)

会 場：あまらぶアートラボ「A-Lab」(えーらぼ) 尼崎市西長洲町 2-33-1

時 間：(平日) 午前 11 時～午後 7 時 (土・日・祝) 午前 10 時～午後 6 時

※火曜日休館

入場料：無料

出展者：鈴木真衣子、高畑紗依、早石萌莉、范銘珊、肥後亮祐、森井沙季

問合せ：尼崎市文化振興担当 (土日除く午前 8 時 45 分から午後 5 時 30 分)

電話 06-6489-6385 FAX 06-6489-6793

主 催：尼崎市 協 力：キャノン株式会社、ベイ・コミュニケーションズ

助 成：令和元年度 文化芸術創造拠点形成事業

3 見どころ

- ・主に関西の大学・大学院の卒業制作展を見た A-Lab のアドバイザーが作家を推薦。
- ・ジャンルが版画、インスタレーション、彫刻、絵画、映像、写真と多岐にわたる。
- ・A-Lab のコンセプトのひとつ、「若い人の夢とチャレンジを応援する」を具体化するプロジェクト

4 関連イベント

【アーティスト・トーク】

タレントでアートプランナーとしても活躍し、A-Lab アドバイザーでもあるおかけんたさんをモデレーターに迎え、出展作家とのトークイベントを開催します。

日時：6月1日（土）午後2時から

場所：あまらぶアトラボ「A-Lab」 room1

定員：先着30名 ※申込不要



おかけんたさん

5 作家略歴

別紙参照

以 上

別紙

あまらぶ アートラボ A-Lab

プレスリリース

A-Lab Exhibition Vol.18




5/25.sat-7/7.sun

尼崎から、若手作家が羽ばたく

A-Lab Artist Gate 2019

新鋭アーティスト発信プロジェクト

開館時間	(平日) 午前 11 時～午後 7 時 (土・日・祝日) 午前 10 時～午後 6 時
会 場	あまらぶアートラボ「A-Lab (えーらぼ)」 尼崎市西長洲町 2-33-1
休 館 日	火曜日
入 場 料	無料
主 催	尼崎市
協 力	ベイ・コミュニケーションズ、キヤノン株式会社
助 成	令和元年度 文化芸術創造拠点形成事業  文化庁

- 開催趣旨 -

A - Lab で毎年開催している「Artist Gate」。本プロジェクトは今後活躍が期待される若手アーティストによるグループ展です。今春、大学を卒業か、大学院を修了し、新たなステップに羽ばたこうとしてる若手アーティストを紹介します。

- 関連イベント -

おかけんたさんと出展作家のトークショー

6月1日(土)午後2時から、タレントでアートプランナーとしても活躍し、A - Lab のアドバイザーでもあるおかけんたさんをモデレーターに迎え作家とのトーク。定員先着 30 人。当日直接会場へ。

- 広報用画像 -

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。下記の使用条件をご了承の上、あまらぶアートラボ「A - Lab」までお申し込みください。

使用条件：

- ・ 広報画像の掲載には各画像のキャプション、クレジットをご表示ください。
- ・ トリミングはできるだけご遠慮ください。
- ・ アーカイブのため、後日掲載紙、URL などをお送りください。

以上、ご協力の程、何卒よろしくお願い致します。

- 問い合わせ先 -

尼崎市文化振興担当（平日のみ） 担当：松長、金子松

電話 06-6489-6385 / FAX 06-6489-6702

あまらぶアートラボ「A - Lab」（火曜日休館）担当：田中、八木

電話 06-7163-7108

作家略歴

鈴木 真衣子 (すずき まいこ) / SUZUKI Maiko

1995 京都府出身

京都市立芸術大学 美術学部美術科版画専攻 卒業

【主な展覧会】

2019 「artDive2019 Action 展」(みやこめっせ、京都)

【賞歴】

2018 「第 11 回大野城市まどかぴあ版画ビエンナーレ」まどかぴあ未来賞

2018 「第 43 回全国大学版画展」優秀賞 (町田市立国際版画美術館収蔵)

2019 「2018 年度 京都市立芸術大学作品展」市長賞

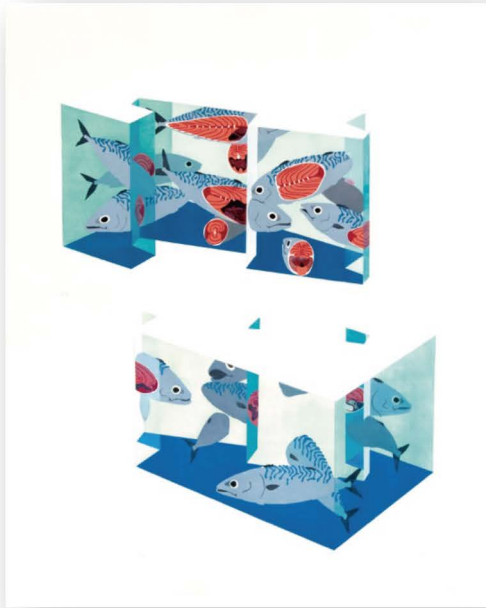
【自身の作品について】

自分が面白いと思ったことを人に説明するために制作をしている。また、人の頭の中で勝手に動いて展開してしまう作品を作りたいと考えている。

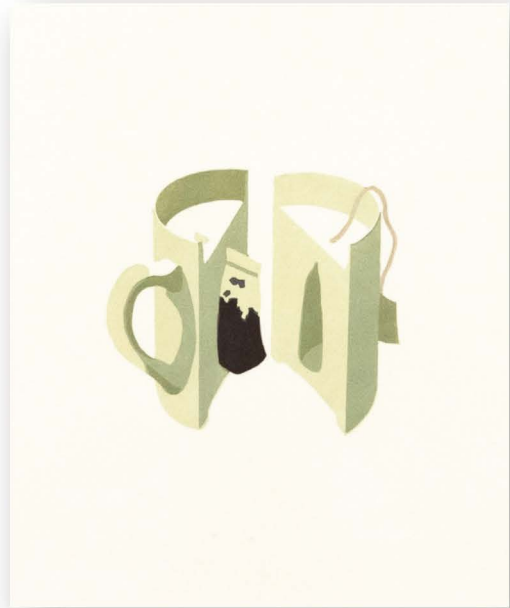
今取り組んでいるテーマは、日用品の「分解」である。「分解」で伝えたいことは「人間は現実にはあり得ない状況でも想像できる」ということと「人間は普段物を見るとき、実際には表面しか見えていなくても、内部をイメージしながら物を捉えている」ということだ。

私が木版画で表現する理由は、木版画という技法に、下絵、分版、版木へのトレース、彫り、刷り、とイメージを繰り返しなぞる行程があるからだ。

私にとってそれらの行程は、モチーフの構造を捉える過程である。



1



2



3



4

1. 《鯖》 2019 油性木版、鳥の子紙 710×555mm
2. 《マグカップ》 2018 油性木版、鳥の子紙 300×300mm
3. 《木工用ボンド》 2019 油性木版、鳥の子紙 840×630mm
4. 《筆洗》 2018 水性木版、鳥の子紙 595×785mm

作家略歴

**高畑 紗依 (たかはた さえ) / TAKAHATA Sae**

1993 大阪府出身

京都精華大学大学院 芸術研究科芸術専攻版画領域 修了

【主な展覧会】

2016 「山びことグローブ」 (kara-S、京都)

2016 「京都精華大学大学院研究発表展」 (京都市美術館、京都)

2016 「連鎖とまたたき」 (京都精華大学ギャラリーフロール、京都)

2017 「タユタユ」 (AMUCA、京都)

2017 「まばたきの数だけ」 (KUNST ARZT、京都)

2018 「あけくちに長靴」 (京都精華大学対峰館 101 教室、京都)

2018 「第 8 回新鋭作家展二次審査」 (川口市立ギャラリー・アトリア、埼玉)

2018 「ニューミュレーション 変・進・深化」 (京都芸術センター、京都)

2019 「京都精華大学展 2019 大学院 2 年修了制作展」 (京都精華大学、京都)

【賞歴】

2018 「第 8 回新鋭作家展」 入選

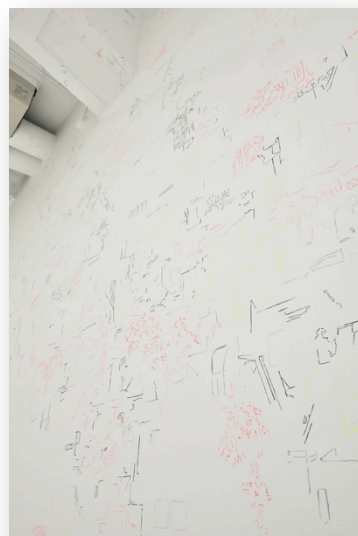
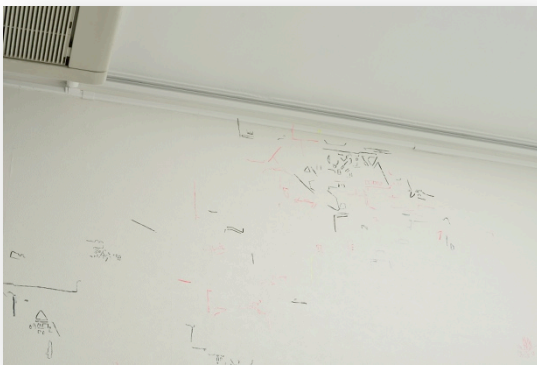
2019 「京都精華大学展 2019」 理事長賞

【自身の作品について】

輪郭線は、ある視点から眺めた時に見えるそのものらしい形をたどることで浮かび上がる、対象と周囲を隔てる境界線です。人によって違って見えているような曖昧なもの、形、関係、様々なものを確かめる・可視化する手立てとして線は存在しています。輪郭線をなぞっていくうちに、どこからどこまでが一つの物の形なのか、どこで線を引くべきなのか境があやふやになっていきます。さらに、解体することで、ただの線になり、本来の意味を失ってしまいます。形をなぞり線を描き、さらにそれを解体する工程を経て、空間に線を散りばめます。それは、ものの形、線のありかについて問いかけるための作業だと考えています。

別紙

あまらぶ アートラボ **A-Lab**
プレスリリース



参考画像

《ビューポイント》2018 カットティングシート、アクリル絵の具 サイズ可変

早石 萌莉 (はやいし もえり) / HAYAISHI Moeri

作家略歴



1996 大阪府出身

京都精華大学 芸術学部造形学科立体造形コース 卒業

【主な展覧会】

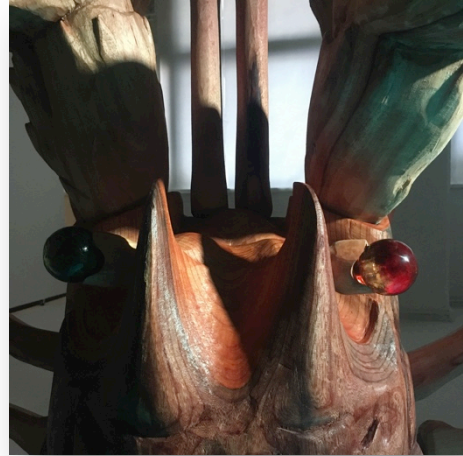
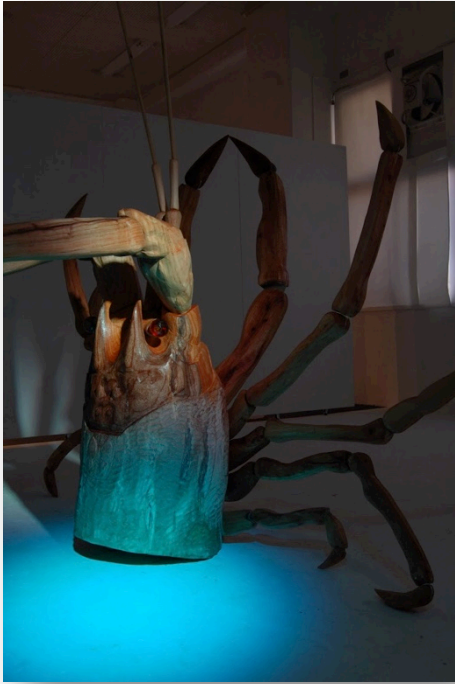
2017 「寄り添う展」(京都精華大学ラウンジ、京都)

2017 「第11回京都高瀬川彫刻展」(高瀬川、京都)

2018 「10th SPROUT」(galerie16、京都)

【自身の作品について】

木で海に関連するものを制作しています。



《motto》2018 ケヤキ、クスノキ、樹脂 1400×1600×1000mm

作家略歴

范 銘珊 / Rice Mingshan Fan

1991 中国出身

2014 ロチェスター工科大学写真学科卒業、

ニューヨークの Fine Art Printing Lab Supreme Digital で働く

2015 来日

2019 大阪芸術大学大学院修士課程写真専攻 修了

【主な展覧会】

2012 「Box Squared」 (The Centre for Fine Art Photography、コロラド)

2012 「RIT Annual Juried Honors Show」 (SPAS William Harris Gallery、ロチェスター・アメリカ)

2013 「Draft 11」 (The community Darkroom、ロチェスター・アメリカ)

2014 「Dossier Outpost」 (Oranbeg Press、ニューヨーク・アメリカ)

2014 「Veinticuatro punto de vista」 (University Gallery、ロチェスター・アメリカ)

2014 「The state of Things(卒業展示会)」 (SPAS William Harris Gallery、ロチェスター・アメリカ)

2014 「RIT Annual Juried Honors Show」 (SPAS William Harris Gallery、ロチェスター・アメリカ)

2014 「Draft 11」 (Juried Publication)

2014 「Wondrous Indeed with Philip Toledano」 (The Centre for Fine Art Photography、コロラド・アメリカ)

2015 「Oversea Students」 (Magazine、中国)

2015 「Going North」 (Oranbeg Press、Online)

2017 「写真から写真へ」 (ら・しい ギャラリー、奈良)

2018 「Identity」 (OURS Photography Magazine、online)

2018 「In・visible」 (大阪芸術大学体育館ギャラリー、大阪)

2019 「三休橋筋国際学生フォトフラッグ展」

2019 「SELF」 (ブルームギャラリー、大阪)

【自身の作品について】

主に自己意識と自己認識を主なテーマとして作品制作に取り組んでいる。また、写真以外にもビデオや彫刻などのさまざまなフォーマットを試している。

別紙

あまらぶ アートラボ **A-Lab**
プレスリリース



1



2

1. 《wedding-2-Untitled》 2017 インクジェットプリント
- 2.《Broadcast Gymnastics-Object 3》2014 インクジェットプリント 406×600mm

作家略歴

**肥後 亮祐 (ひご りょうすけ) / HIGO Ryosuke**

1995 北海道出身

2019 京都精華大学芸術学部メディア造形学科版画コース 卒業

2019 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻構想設計 在籍

【主な展覧会】

2017 「浮遊園地」(theSITE、京都)

2018 「写真新世紀展 2018」(東京都写真美術館、東京)

2018 「あけくちに長靴」(京都精華大学 T101、京都)

2019 「京都精華大学展 卒業・修了発表展 2019」(京都精華大学、京都)

2019 「KINO PRINT 2019」(ギャラリーヒルゲート、京都)

2019 「写真新世紀 第41回公募 受賞選抜展 KG+ 2019」(GALLERY Ann、京都)

【賞歴】

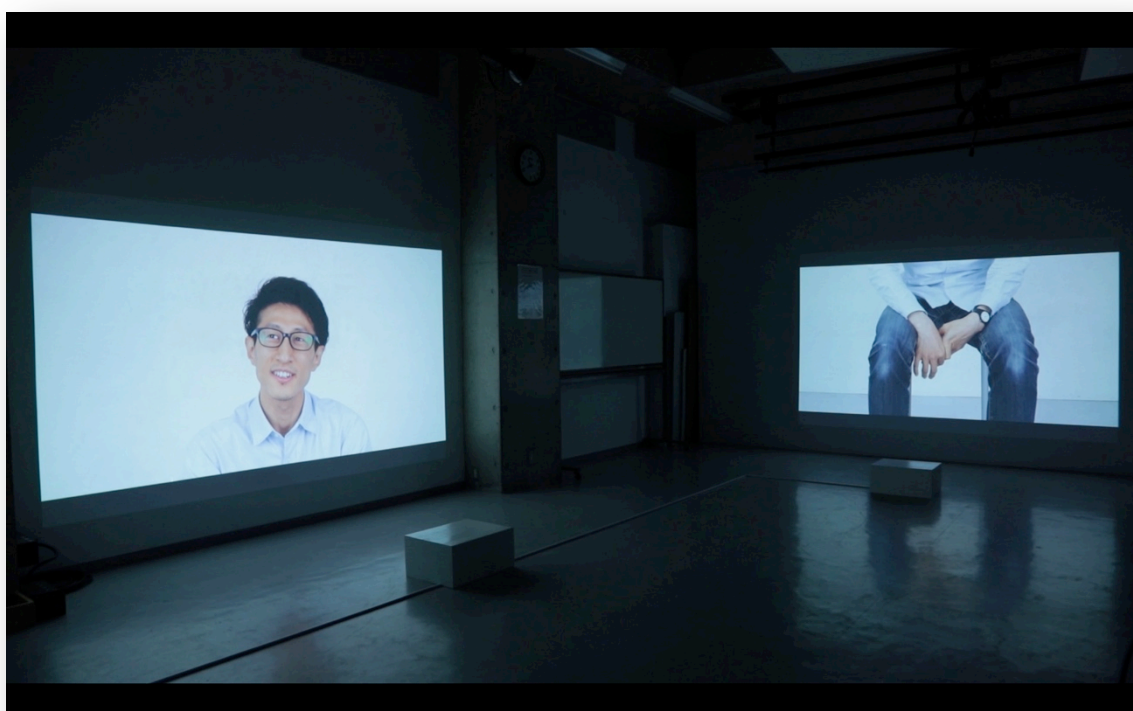
2018 「キヤノン写真新世紀」佳作

【自身の作品について】

見れていなかったノイズ(背景)が見たいものへと反転する時、意識するまでの潜伏期間に起こった事を考えたりする。背景として処理される前の環境や状況について考えながら制作している。

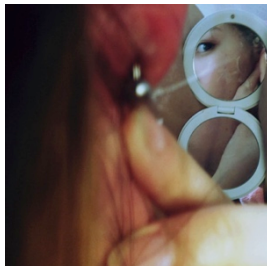
別紙

あまらぶ アートラボ **A-Lab**
プレスリリース



参考画像 《oozing》 2018 映像作品 (3 分46 秒)

作家略歴

森井 沙季 (もりい さき) / MORII Saki

1996 兵庫県出身

京都造形芸術大学油画コース卒業

京都造形芸術大学大学院美術工芸領域彫刻分野 在籍

【主な展覧会】

2018 「Exhibition#001 いま、絵を ということ。」(京都造形芸術大学、京都)

【自身の作品について】

人が思い描く「夢」というのは常に「理想」と「虚構」、この2つに引き裂かれている。色鮮やかな「理想」が否定へと変質した際、仄暗い「虚構」が現れ次第にその鮮やかな色が明度を奪われ、臃げな色彩へと変容してしまう。人が夢を叶えるプロセスは光と影、表と裏、相反する2つの要素が互いを飲みこみ合い、ブラッシュアップされて行き辿り着くものだ。私はその過程を美しく思いキャンバスへと写し込む。

別紙

あまらぶ アートラボ A-Lab
プレスリリース



1

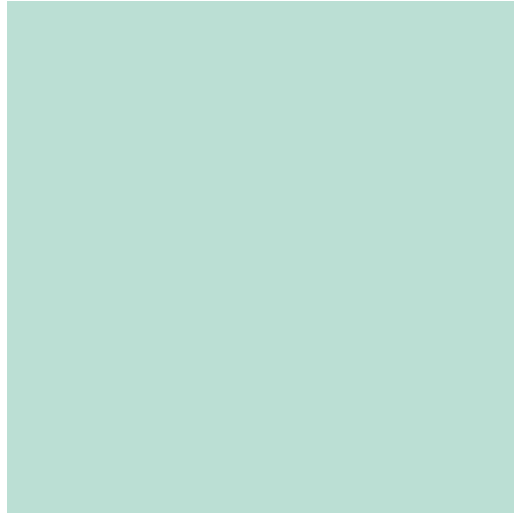


2



3

1. 参考画像 《Exit》
2. 参考画像 《certification》
3. 《image》2018 パネルに綿布、油彩 1940×1120mm



5/25.sat-7/7.sun

尼崎から、若手作家が羽ばたく

A-Lab Artist Gate 2019

新鋭アーティスト発信プロジェクト

■■■■■

鈴木 真衣子

■■■■■

高畑 紗依

■■■■■

早石 萌莉

■■■■■

范 銘珊

■■■■■

肥後 亮祐

■■■■■

森井 沙季

2019
5/25.sat-7/7.sun

入場料無料 (火曜日休館)

月・水～金 午前11時～午後7時
土・日・祝日 午前10時～午後6時

主催 尼崎市

協力 キヤノン株式会社 Baycom

助成 令和元年度 文化芸術創造拠点形成事業 文化庁

A-Lab Artist Gate 2019

A-Lab で毎年開催している「Artist Gate」。本プロジェクトは今後活躍が期待される若手アーティストによるグループ展です。今春、大学を卒業か、大学院を修了し、新たなステップに羽ばたこうとしている若手アーティストを紹介いたします。



会期中のイベント

6/1(土)

おかけんたさんと
出展作家のトークショー



おかけんたさん

6月1日(土)午後2時から、タレントでアートプランナーとしても活躍し、A-Lab のアドバイザーでもあるおかけんたさんをモデレーターに迎え、作家とのトーク。定員先着30人。当日直接会場へ。

鈴木真衣子

Suzuki Maiko

【版画】



鯖 (2019)



京都市立芸術大学美術学部美術科版画専攻卒業。1995年生まれ。京都府出身。【受賞】京都市立芸術大学作品展市長賞(2019)、第43回全国大学版画展 優秀賞(町田市立国際版画美術館收藏)(2018)、第11回大野城市まどかびあ版画ビエンナーレまどかびあ未来賞(2018)【展覧会】artDive2019 Action展(みやこめっせ/京都)2019

高畑紗依

Takahata Sae

【インスタレーション】



ビューポイント (2018)



京都精華大学大学院芸術研究科芸術専攻版画領域修了。1993年生まれ。大阪府出身。【受賞】京都精華大学展理事長賞(2019)、第8回新鋭作家展入選(2018)【展覧会】ニューミュージーション 変・進・深化(京都芸術センター)2018、あけくちに長靴(京都精華大学)2018、まばたきの数だけ(KUNST-ARZT/京都)2017

早石萌莉

Hayaishi Moeri

【彫刻】



motto (2018)



京都精華大学芸術学部造形学科立体造形コース卒業。1996年生まれ。大阪府出身。【展覧会】10th SPROUT(galerie16/京都)2018、第11回京都高瀬川彫刻展(京都)2017、寄り添う展(京都精華大学ラウンジ)2017

范銘珊

Rice Mingshan Fan

【写真・インスタレーション】



Broadcast Gymnastics (2014)



大阪芸術大学大学院修士課程写真専攻修了。1991年生まれ。中国出身。【展覧会】SELF(ブルームギャラリー/大阪)2109、RIT Annual Juried Honors Show(SPAS William Harris Gallery/アメリカ・ロチェスター)2014、Wondrous Indeed with Philip Toledano(The Centre for Fine Art Photography/アメリカ・コロラド)2014

肥後亮祐

Higo Ryosuke

【映像・インスタレーション】



oozing (2018)



京都精華大学芸術学部メディア造形学科版画コース卒業。1995年生まれ。北海道出身。現在、京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻構想設計在籍。【受賞】キヤノン写真新世紀 佳作(2018)【展覧会】写真新世紀受賞選抜展 KG+(GALLERY Ann/京都)2019、写真新世紀展(東京都写真美術館)2018、あけくちに長靴(京都精華大学)2018

森井沙季

Morii Saki

【絵画】



image (2018)



京都造形芸術大学油画コース卒業。1996年生まれ。兵庫県出身。現在、京都造形芸術大学大学院美術工芸領域彫刻分野在籍【展覧会】Exhibition#001 いま、絵を、ということ。(京都造形芸術大学)2018

あまらぶ アートラボ

A-Lab

アクセス

(尼崎市西長洲町2-33-1)

会場には一般用駐車場はありません

【阪神尼崎駅から】北東へ徒歩15分または、阪神バス11・22・23、阪急バスで「西長洲」下車 東へ徒歩5分
【JR尼崎駅から】阪神バス11・23系統で「西長洲」下車 東へ徒歩5分
【阪急塚口駅から】阪急バスで、阪神尼崎行き「西長洲」下車 東へ徒歩5分

問い合わせ先

市役所文化振興担当 ☎06-6489-6385

A-Lab ☎06-7163-7108

Facebookで
チェックしてね

